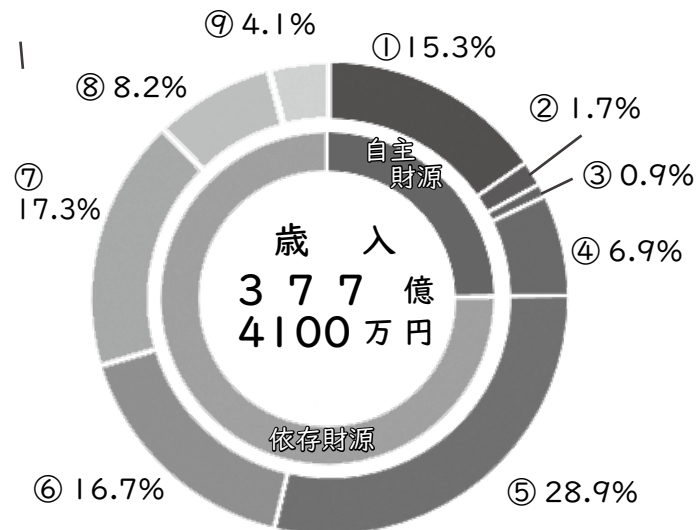


一般会計歳入



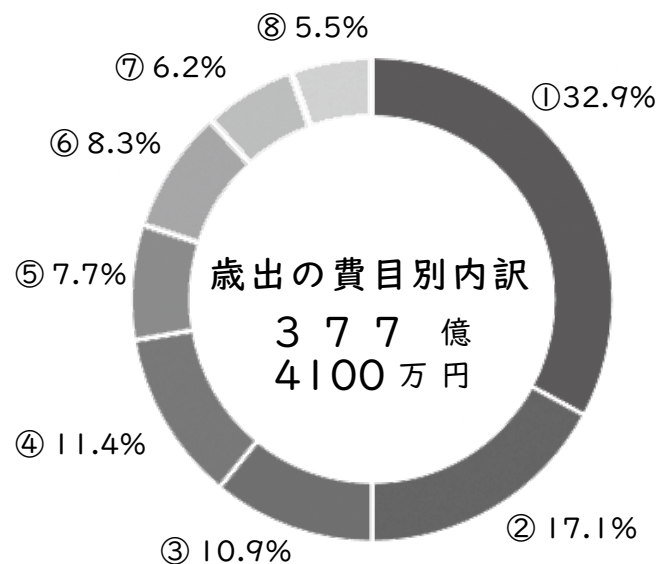
自主財源

- ①市税：57億5707万円(15.3%)
- ②使用料及び手数料：6億3885万9千円(1.7%)
- ③分担金及び負担金：3億2353万7千円(0.9%)
- ④諸収入他寄付金等：26億5940万2千円(6.9%)

依存財源

- ⑤地方交付税：109億460万8千円(28.9%)
- ⑥国庫支出金：62億8574万6千円(16.7%)
- ⑦県支出金：65億1404万9千円(17.3%)
- ⑧市債：31億730万円(8.2%)
- ⑨地方譲与税・交付金等：15億5042万9千円(4.1%)

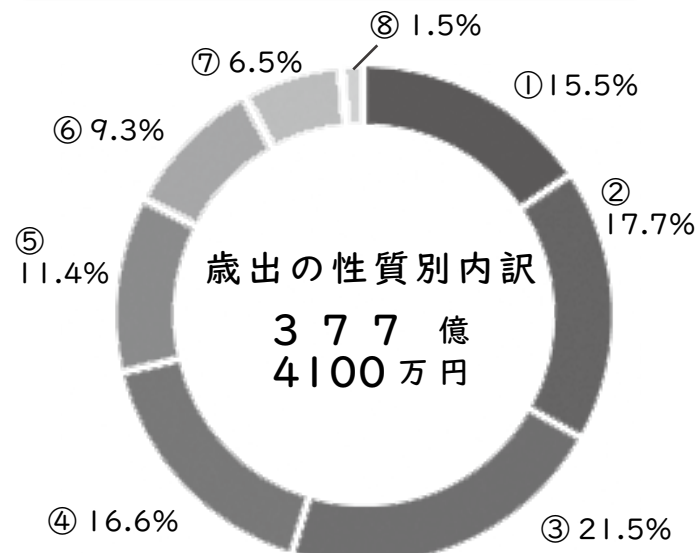
一般会計歳出(費目別)



費目別

- ①民生費：124億465万2千円(32.9%)
- ②総務費：64億3762万1千円(17.1%)
- ③農林水産業費：41億3032万7千円(10.9%)
- ④公債費：42億8360万7千円(11.4%)
- ⑤土木費：29億172万5千円(7.7%)
- ⑥教育費：31億4905万9千円(8.3%)
- ⑦衛生費：23億2678万8千円(6.2%)
- ⑧その他(消防費・商工費など)：21億722万1千円(5.5%)

一般会計歳出(性質別)



性質別

- ①普通建設事業費：58億5419万2千円(15.5%)
- ②人件費：66億7805万9千円(17.7%)
- ③扶助費：81億719万円3千円(21.5%)
- ④物件費：62億7033万9千円(16.6%)
- ⑤公債費：42億8360万7千円(11.4%)
- ⑥繰出金：35億819万5千円(9.3%)
- ⑦補助費等：24億6310万5千円(6.5%)
- ⑧その他(維持補修費や予備費など)：5億7631万円(1.5%)

※端数処理の関係上、構成率の計は100%にならない場合があります。

2021(R3)年度 宮古島市当初予算

お問合せ：財政課 ☎ 73-3302

2021(R3)年度 一般会計予算額

377億4100万円

令和2年度から
65億9900万円の
減額

2020(R2)年度 一般会計予算額

443億4000万円

各会計予算総括表

会計名	当初予算額	増減率
一般会計	377億4100万円	△14.9%
特別会計	145億3983万7千円	6.6%
国民健康保険事業特別会計	63億4627万6千円	△0.5%
港湾事業特別会計	15億3259万2千円	144.1%
介護保険特別会計	59億9868万8千円	0.6%
後期高齢者医療特別会計	5億3943万9千円	0.3%
再生可能エネルギー運営事業特別会計	1118万8千円	△13.2%
土地区画整理事業特別会計	1億1165万4千円	△4.8%

令和3年度の当初予算は、歳入では市税が前年度比で伸びている一方で、地方交付税が普通交付税の合併算定替えの終了に伴い、昨年度に引き続き前年度比での減となったことにより、市税の伸びを普通交付税の減額が上回る状況となっています。歳出では昨年度に続き、公債費が増額となっていますが、総合庁舎整備事業等の大型公共事業の完了に伴い普通建設事業費が大幅に減額となったため、全体でも減となっています。歳入における一般財源の減、増加する財政需要に対しては、昨年度に引き続き財政調整基金からの繰り入れや、普通建設事業に対しての特定目的基金からの繰り入れ及び市債発行により財源を確保し予算編成を行い、令和3年度当初予算は、歳入歳出総額377億4100万円、前年度比で65億9900万円の減となっています。

令和3年度当初予算における主な事業として、保育所等整備助成事業で4億6千144万円を計上し、し尿等処理施設整備事業で3億1千791万円を計上しています。

沖繩振興特別推進事業(一括交付金)の主な事業としては、一般会計にて城辺地区世代間交流施設整備事業で3億1千954万円を計上しており、港湾事業特別会計にて平良港総合物流センター整備事業で9億687万円を計上しています。

また、新型コロナウイルス感染症対策として緊急的に予算が必要となる事を想定し、一般会計にて予備費で前年度比2億7千万円増の3億円を計上しています。

Point

予算の特徴